

水産基盤整備事業

期中の評価(再評価)原案準備書根拠資料

寿都地区 直轄特定漁港漁場整備事業

令和7年度
北海道開発局

寿都地区 直轄特定漁港漁場整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 寿都島牧圏域の流通拠点漁港として、屋根付き岸壁等の整備によりホタテガイ等の衛生的な陸揚げ環境を確保し、国内外への水産物供給力強化を図る。また、防災対策を強化し、耐震性能を強化した岸壁及び道路等の整備により、大規模災害時の水産業の早期再開を図る。さらに、物揚場の改良整備により、非効率な作業を解消し、漁業活動の効率化を図る。
- (2) 主要工事計画 : -3.0m岸壁(南)68m、-3.5m岸壁(南)62m、北防波堤(改良)80m ほか
- (3) 事業費 : 6,143 百万円
- (4) 工期 : 平成29年度～令和12年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	7,173,132 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	8,268,519 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.15

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
北防波堤(改良)	L= 80.0 m	895,526
南防波堤	L= 20.0 m	701,000
護岸(南)	L= 167.0 m	690,996
-3.5m泊地	A= 6,000 m ²	217,720
-3.0m泊地	A= 500 m ²	181,310
-3.5m岸壁(南)	L= 62.0 m	1,168,357
-3.5m岸壁(改良)	L= 120.0 m	0
-3.0m岸壁(南)	L= 68.0 m	1,280,577
-2.5m物揚揚(改良)	L= 109.0 m	128,394
道路	L= 477.0 m	448,418
道路護岸(南)	L= 138.0 m	219,000
用地	A= 4,830 m ²	212,200
計		6,143,498
維持管理費等		22,249
総費用(消費税込)		6,165,747
内、消費税額		549,228
総費用(消費税抜)		5,616,519
現在価値化後の総費用		7,173,132

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準 便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		69,054	<ul style="list-style-type: none"> ・南埠頭及び屋根付き岸壁整備による陸揚・荷捌作業時間の短縮 ・南埠頭及び屋根付き岸壁整備による準備作業時間の短縮 ・南埠頭整備による漁船耐用年数の延長 ・南埠頭整備による出荷車両の運搬時間の削減 ・防波堤の改良による見回り作業時間の短縮
漁獲物付加価値化の効果		5,794	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根付き岸壁整備による漁獲物の品質保持
漁業就業者の労働環境改善効果		9,490	<ul style="list-style-type: none"> ・南埠頭及び屋根付き岸壁整備による陸揚・荷捌作業環境の改善 ・物揚場の改良整備による労働環境の改善
生命・財産保全・防御効果		47,086	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性能を強化した岸壁整備による漁業活動休止被害の回避及び施設復旧費用の削減
避難・救助・災害対策効果		324,738	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港整備による海難損失の回避
計		456,162	

(4)費用及び便益の現在価値算定表

評 価 期 間	年 度	割引率	デフ レータ	費用(千円)		便益(千円)						計	現在価値
				事業費(維持 管理費含む)	現在価値(維 持管理費含 む)	水産物生 産コストの削 減効 果	漁獲物付 加価値化 の効果	漁業就業 者の労働 環境改善 効果	生命・財 産保全・ 防衛効果	避難・救 助・災害 対策効果			
				①	②								
0	H28	1.423	1.484	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	H29	1.369	1.446	166,667	329,930	0	0	0	0	0	0	0	0
2	H30	1.316	1.401	453,712	836,516	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,450
3	R1	1.265	1.363	311,199	536,568	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,394
4	R2	1.217	1.342	786,372	1,284,314	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,341
5	R3	1.170	1.295	365,463	553,731	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,289
6	R4	1.125	1.191	438,205	587,140	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,240
7	R5	1.082	1.070	318,216	368,411	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,192
8	R6	1.040	1.000	815,489	848,109	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,146
9	R7	1.000	1.000	387,307	387,307	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,102
10	R8	0.962	1.000	727,307	699,669	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,060
11	R9	0.925	1.000	395,651	365,977	0	0	1,102	0	0	0	1,102	1,019
12	R10	0.889	1.000	165,696	147,304	0	0	1,102	0	0	0	1,102	980
13	R11	0.855	1.000	68,528	58,591	25,628	0	1,102	0	324,738	351,468	300,505	
14	R12	0.822	1.000	197,790	162,583	25,628	0	1,102	0	324,738	351,468	288,907	
15	R13	0.790	1.000	405	320	69,054	5,794	9,490	47,086	324,738	456,162	360,368	
16	R14	0.760	1.000	405	308	69,054	5,794	9,490	46,459	324,738	455,535	346,207	
17	R15	0.731	1.000	405	296	69,054	5,794	9,490	45,839	324,738	454,915	332,543	
18	R16	0.703	1.000	405	285	69,054	5,794	9,490	45,228	324,738	454,304	319,376	
19	R17	0.676	1.000	405	274	69,054	5,794	9,490	44,625	324,738	453,701	306,702	
20	R18	0.650	1.000	405	263	69,054	5,794	9,490	44,030	324,738	453,106	294,519	
21	R19	0.625	1.000	405	253	69,054	5,794	9,490	43,443	324,738	452,519	282,824	
22	R20	0.601	1.000	405	243	69,054	5,794	9,490	42,864	324,738	451,940	271,616	
23	R21	0.577	1.000	405	234	69,054	5,794	9,490	42,292	324,738	451,368	260,439	
24	R22	0.555	1.000	405	225	69,054	5,794	9,490	41,728	324,738	450,804	250,196	
25	R23	0.534	1.000	405	216	69,054	5,794	9,490	41,172	324,738	450,248	240,432	
26	R24	0.513	1.000	405	208	69,054	5,794	9,490	40,623	324,738	449,699	230,696	
27	R25	0.494	1.000	405	200	69,054	5,794	9,490	40,081	324,738	449,157	221,884	
28	R26	0.475	1.000	405	192	69,054	5,794	9,490	39,547	324,738	448,623	213,096	
29	R27	0.456	1.000	405	185	69,054	5,794	9,490	39,020	324,738	448,096	204,332	
30	R28	0.439	1.000	405	178	69,054	5,794	9,490	38,499	324,738	447,575	196,485	
31	R29	0.422	1.000	405	171	69,054	5,794	9,490	37,986	324,738	447,062	188,660	
32	R30	0.406	1.000	405	164	69,054	5,794	9,490	37,480	324,738	446,556	181,302	
33	R31	0.390	1.000	405	158	69,054	5,794	9,490	36,980	324,738	446,056	173,962	
34	R32	0.375	1.000	405	152	69,054	5,794	9,490	36,487	324,738	445,563	167,086	
35	R33	0.361	1.000	405	146	69,054	5,794	9,490	36,000	324,738	445,076	160,672	
36	R34	0.347	1.000	405	141	69,054	5,794	9,490	35,520	324,738	444,596	154,275	
37	R35	0.333	1.000	405	135	69,054	5,794	9,490	35,047	324,738	444,123	147,893	
38	R36	0.321	1.000	405	130	69,054	5,794	9,490	34,579	324,738	443,655	142,413	
39	R37	0.308	1.000	405	125	69,054	5,794	9,490	34,118	324,738	443,194	136,504	
40	R38	0.296	1.000	405	120	69,054	5,794	9,490	33,663	324,738	442,739	131,051	
41	R39	0.285	1.000	405	115	69,054	5,794	9,490	33,215	324,738	442,291	126,053	
42	R40	0.274	1.000	405	111	69,054	5,794	9,490	32,772	324,738	441,848	121,066	
43	R41	0.264	1.000	405	107	69,054	5,794	9,490	32,335	324,738	441,411	116,533	
44	R42	0.253	1.000	405	102	69,054	5,794	9,490	31,904	324,738	440,980	111,568	
45	R43	0.244	1.000	405	99	69,054	5,794	9,490	31,478	324,738	440,554	107,495	
46	R44	0.234	1.000	405	95	69,054	5,794	9,490	31,058	324,738	440,134	102,991	
47	R45	0.225	1.000	405	91	69,054	5,794	9,490	30,644	324,738	439,720	98,937	
48	R46	0.217	1.000	405	88	69,054	5,794	9,490	30,236	324,738	439,312	95,331	
49	R47	0.208	1.000	405	84	69,054	5,794	9,490	29,833	324,738	438,909	91,293	
50	R48	0.200	1.000	405	81	69,054	5,794	9,490	29,435	324,738	438,511	87,702	
51	R49	0.193	1.000	405	78	69,054	5,794	9,490	29,042	324,738	438,118	84,557	
52	R50	0.185	1.000	396	73	69,054	5,794	8,388	28,655	324,738	436,629	80,776	
53	R51	0.178	1.000	396	70	69,054	5,794	8,388	28,273	324,738	436,247	77,652	
54	R52	0.171	1.000	396	68	69,054	5,794	8,388	27,896	324,738	435,870	74,534	
55	R53	0.165	1.000	396	65	69,054	5,794	8,388	27,524	324,738	435,498	71,857	
56	R54	0.158	1.000	382	60	25,628	0	0	0	324,738	350,366	55,358	
57	R55	0.152	1.000	370	56	25,628	0	0	0	324,738	350,366	53,256	
58	R56	0.146	1.000	370	54	25,628	0	0	0	324,738	350,366	51,153	
59	R57	0.141	1.000	370	52	25,628	0	0	0	324,738	350,366	49,402	
60	R58	0.135	1.000	370	50	25,628	0	0	0	324,738	350,366	47,299	
61	R59	0.130	1.000	208	27	25,628	0	0	0	324,738	350,366	45,548	
62	R60	0.125	1.000	163	20	0	0	0	0	0	0	0	
63	R61	0.120	1.000	58	7	0	0	0	0	0	0	0	

64	R62	0.116	1.000	58	7	0	0	0	0	0	0	0
	計			5,616,519	7,173,132			計				8,268,519

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

①南埠頭及び屋根付き岸壁整備による陸揚・荷捌作業時間の短縮

寿都漁港では、午前中の出荷に間に合うよう、ホタテ・カキ養殖漁業が同時陸揚げ・選別・出荷等を行っている。他の漁業種の陸揚げも午前中に集中するため、ホタテ・カキ養殖漁業は、護岸での陸揚げや狭隘な用地での陸揚げ作業等、非効率な作業形態となっている。スペース不足のため、フォークリフトが使用できずに人力で台車を用いた運搬等により作業時間がかかっている状況にある。また、陸揚げ後の籠の洗浄作業においても、用地不足のため、陸揚げ後に岸壁上で作業を行っている状況にある。そのため、狭隘なスペースで各作業が交錯している状態にあることから、ホタテ漁業岸壁の整備によって、適切な作業スペースの確保が可能となり陸揚・荷捌作業時間の短縮が図られるとともに、陸揚げ後の籠の洗浄も、岸壁背後の用地に運搬しての洗浄作業となるため、作業の交錯が生じず、作業時間の効率化が図られる。

区分			数量	備考		
漁船隻数	ホタテ	3~5t船 (隻)	6	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査		
		5~10t船 (隻)	3			
	カキ	3~5t船 (隻)	2			
		5~10t船 (隻)	2			
出漁日数	ホタテ	本分散 (日/年)	6	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査		
		稚貝入替 (日/年)	10			
		出荷 (日/年)	58			
	カキ	仮殖 (日/年)	2			
		出荷 (日/年)	34			
作業人数			9			
漁業者労務単価		3~5t船 (円/時間)	2,075	令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より		
		5~10t船 (円/時間)	2,843			
陸揚・荷捌作業時間削減効果	整備前作業時間	ホタテ	本分散 (時間/日)	6.0		
			稚貝入替 (時間/日)	6.0		
			出荷 (時間/日)	3.0		
		カキ	仮殖 (時間/日)	6.0		
			出荷 (時間/日)	3.0		
	整備後作業時間	ホタテ	本分散 (時間/日)	4.0		
			稚貝入替 (時間/日)	4.0		
			出荷 (時間/日)	1.5		
		カキ	仮殖 (時間/日)	4.0		
			出荷 (時間/日)	1.5		
作業時間削減効果			1,345	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査		
			921			
			2,241			
			1,535			
			9,748			
			6,678			
			149			
			205			
			1,905			
			2,610			
年間便益額			(千円/年)	27,337		
				(⑦の計)		

①×②×③×④×(⑤-⑥)/1,000

※漁船階層別・作業種別に算出

②南埠頭及び屋根付き岸壁整備による準備作業時間の短縮

②-1 岸壁洗浄作業時間の短縮

現在、屋外での陸揚げのため、鳥糞や強風による塵埃等により、陸揚げ前に念入りに岸壁洗浄を行っている。また、施設不足のため、養殖作業に対応した排水機能が不十分なため、残渣集約等、使用後のエプロン洗浄作業にも時間を要している状況にある。ホタテ漁業岸壁の整備によって、岸壁洗浄等の準備作業に要する作業時間の短縮が図られる。

区分				数量	備考	
漁船隻数	ホタテ	3～5t船	(隻)	①	6	
		5～10t船	(隻)		3	
	カキ	3～5t船	(隻)		2	
		5～10t船	(隻)		2	
出漁日数	ホタテ	本分散	(日/年)	②	6	
		稚貝入替	(日/年)		10	
		出荷	(日/年)		58	
	カキ	仮殖	(日/年)		2	
		出荷	(日/年)		34	
作業人数				③	9	
漁業者		3～5t船	(円/時間)	④	2,075	
労務単価		5～10t船	(円/時間)		2,843	
岸壁洗浄作業	整備前作業時間				(時間/日)	
	ホタテ	本分散	3～5t船	⑤	(千円/年)	
		5～10t船	(千円/年)		276	
	カキ	稚貝入替	3～5t船	⑦	189	
		5～10t船	(千円/年)		459	
		出荷	3～5t船		315	
		5～10t船	(千円/年)		2,665	
	ホタテ	仮殖	3～5t船	⑥	1,825	
		5～10t船	(千円/年)		31	
		出荷	3～5t船		42	
		5～10t船	(千円/年)		521	
年間便益額				7,036	⑦の計	
調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査						
①×②×③×④×(⑤-⑥)/1,000 ※漁船階層別・作業種別に算出						

②-2 除雪作業時間の短縮

ホタテは通年での操業のため、冬期の操業の際には、除雪を行ってからの作業となっている。屋根付き岸壁の整備により、除雪に要する作業時間の短縮が図られる。

区分				数量	備考
漁船隻数	ホタテ	3~5t船	(隻)	6	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査 ・操業日数は、冬期（11月～3月）
		5~10t船	(隻)	3	
	カキ	3~5t船	(隻)	2	
		5~10t船	(隻)	2	
出漁日数	ホタテ	浮力調整等	(日/年)	25	11月～3月における寿都観測所における10cm以上の降雪日の割合（気象庁メダスデータ（寿都観測所））
		出荷	(日/年)	32	
	カキ	浮力調整等	(日/年)	25	
除雪作業	除雪作業割合			(%)	③ 8.5
	除雪日数	ホタテ浮力調整等	(日/年)		2.0
		ホタテ出荷	(日/年)	④	3.0 ②×③
		カキ浮力調整等	(日/年)		2.0
	整備前作業時間			(時間/日)	⑤ 1.0
	整備後作業時間			(時間/日)	⑥ 0.0
	作業人数	浮力調整等	(人/隻)	⑦	3 調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		出荷	(人/隻)		9
	漁業者労務単価	3~5t船	(円/時間)	⑧	2,075 令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より
		5~10t船	(円/時間)		2,843
作業時間削減効果	ホタテ	浮力調整等	3~5t船 (千円/年)	⑨	75 ①×④×(⑤-⑥)×⑦×⑧/1,000
		5~10t船	(千円/年)		51
		出荷	3~5t船 (千円/年)		336 ※漁船階層別・作業種別に算出
		5~10t船	(千円/年)		230
	カキ	浮力調整等	3~5t船 (千円/年)		25
		5~10t船	(千円/年)		34
		年間便益額			751 ⑨の計

③南埠頭整備による漁船耐用年数の延長

寿都漁港では、10t未満漁船は-2.5m物揚場に全漁船係留しているが、休憩岸壁が不足しているため、多そう係留を強いられており漁船同士の接触により耐用年数が低下している。

南埠頭を整備し、これにともなう漁港利用再編により休憩岸壁が増加し、多そう係留が解消されることから、耐用年数の増加が見込まれる。

区分			数量	備考
漁船隻数	刺網、ホタテ	(隻)	① 8	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
平均トン数	3~5t船	(トン)	② 4.5	R5港勢調査
総トン数	刺網、ホタテ	(トン)	③ 36.0	①×②
整備前漁船耐用年数		(年)	④ 7	減価償却資産の耐用年数等に関する省令（財務省）
整備後漁船耐用年数		(年)	⑤ 10.17	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-（令和7年6月、水産庁）
漁船建造費		(千円/トン)	⑥ 5,009	
漁船耐用年数延長効果	刺網、ホタテ	(千円/年)	⑦ 8,030	③×(1/④-1/⑤)×⑥ ※漁業種別に算出
年間便益額			8,030	⑦の計

④南埠頭整備による出荷車両の運搬時間の削減

現在、ホタテ陸揚げトラックは、イカ等の他の出荷トラックと同じ道路を利用しているが、作業時間が集中しているため時間が掛かっている状況にある。南埠頭整備により、漁港から国道までの距離が短くなり、ホタテ及びカキの出荷車両の国道へのアクセス時間および燃料費が削減する。

区分			数量	備考	
車両台数	(台/回)	①	2		
出荷日数	ホタテ出荷 (日/年)	②	58	調査日：令和7年6月4日	
	カキ出荷 (日/年)	③	34	調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員	
往復回数	(往復)	④	1	調査実施者：小樽港湾事務所職員	
作業人数	(人/台)	⑤	1	調査実施方法：ヒアリング調査	
整備前走行距離 (片道)	(km)	⑥	2.6	地図より計測	
整備後走行距離 (片道)	(km)	⑦	2.1		
運転手労務単価	(円/時間)	⑧	2,210	令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より	
運搬時間の削減	整備前作業時間 (時間/日)	⑨	0.13	③×2(往復のため)×⑤/40	40：走行速度(km/h)
	整備後作業時間 (時間/日)	⑩	0.11	③×2(往復のため)×⑥/40	40：走行速度(km/h)
	運搬時間 削減効果	ホタテ出荷 (千円/年)	5	①×②×③×④×⑦×(⑧-⑨)/1,000	
		カキ出荷 (千円/年)	3		
	運搬時間削減額 (千円/年)	⑪	8	⑩の計	
車両経費の削減	走行経費 (円/km)	⑫	46.21	費用便益分析マニュアル（国土交通省道路局都市局、令和7年8月）	
	GDPデフレータ (R7)	⑬	110.2	内閣府経済社会総合研究所	
	GDPデフレータ (R6)	⑭	110.2		
	車両経費 削減効果	ホタテ出荷 (千円/年)	5	①×②×③×(⑤-⑥)×2(往復のため)×⑫×⑬/⑭/1,000	
		カキ出荷 (千円/年)	3		
	車両経費削減額 (千円/年)	⑮	8	⑮の計	
積込時間の削減	出荷日数 (ホタテ) (日/年)	⑯	58	調査日：令和7年6月4日	
	整備前作業時間 (時間/日)	⑰	1	調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員	
	整備後作業時間 (時間/日)	⑱	0	調査実施者：小樽港湾事務所職員	
	作業時間削減額 (千円/年)	⑲	256	調査実施方法：ヒアリング調査	
	年間便益額 (千円/年)	⑳	272	⑪+⑮+⑲	

⑤防波堤の改良による見回り作業時間の短縮

整備前は、波浪注意報（有義波高3m以上）が発令されるような波浪状況においては、港内に係留する漁船が波で動搖するため、水面係留漁船に関しては見回りが必要な状況であった。南港区が整備されたことで港内の静穏性が向上し波浪注意報時の見回り時間の削減が可能となった。当該便益の隻数については、港内の岸壁や船揚場を利用してい る漁船を対象とする。

区分		数量	備考
見回り時間の削減	対象漁船隻数 (0~3t)	(隻) ① 46	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	対象漁船隻数 (3~5t)	(隻) ② 2	
	対象回数	(回/年) ③ 55.2	
	対象作業人数	(人/隻) ④ 2	
	波浪注意報以上発令1回あたり継続時間	(時間) ⑤ 37.6	
	見回り時間間隔	(時間) ⑥ 6.0	
	整備前	(時間) ⑦ 24.0	
	整備後	(時間) ⑧ 1.25	
	作業時間	(時間/回) ⑨ 0.25	
	漁業者労務単価	(円/時間) ⑩ 1,632	
	(3~5t)	(円/時間) ⑪ 2,075	
	年間便益額	(千円/年) ⑫ 61,676	令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より
	(0~3t)	(千円/年) ⑬ 3,409	①×③×④×(⑤/⑥×⑧-⑤/⑦×⑨)×⑩
	(合計)	(千円/年) ⑭ 65,085	②×③×④×(⑤/⑥×⑧-⑤/⑦×⑨)×⑪ ⑫+⑬
車両経費の削減	対象作業台数	⑮ 2.0	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	移動距離	⑯ 2.0	漁港から漁業者居住地への平均距離（往復）
	走行経費	⑰ 23.57	費用便益分析マニュアル（国土交通省道路局都市局、令和7年8月）
	GDPデフレータ (R7)	⑱ 110.2	内閣府経済社会総合研究所(R6)
	GDPデフレータ (R6)	⑲ 110.2	
	年間便益額	(千円/年) ⑳ 1,125	①×③×⑮×(⑤/⑥-⑤/⑦)×⑰×(⑱/⑲)
	(0~3t)	(千円/年) ㉑ 49	②×③×⑮×(⑤/⑥-⑤/⑦)×⑰×(⑱/⑲)
	(合計)	(千円/年) ㉒ 1,174	⑳+㉑
警戒係留作業時間削減	対象回数	(回/年) ㉓ 55.2	調査日：令和7年6月4日
	対象作業人数	(人/隻) ㉔ 2.0	調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員
	整備前作業時間	(時間/回) ㉕ 2.00	調査実施者：小樽港湾事務所職員
	整備後作業時間	(時間/回) ㉖ 0.00	調査実施方法：ヒアリング調査
	漁業者労務単価	(円/時間) ㉗ 1,632	令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より
	(3~5t)	(円/時間) ㉘ 2,075	
	年間便益額	(千円/年) ㉙ 16,576	①×㉓×㉔×(㉕-㉖)×㉗
	(0~3t)	(千円/年) ㉚ 916	②×㉓×㉔×(㉕-㉖)×㉗
	(3~5t)	(千円/年) ㉛ 17,492	㉙+㉚
	(合計)	(千円/年) ㉜ 83,751	㉔+㉙+㉛
総便益額		(千円/年) ㉝ 25,628	㉔×㉜
本特定計画における便益対象施設の整備延長		(m) ㉞ 267	
前特定計画における便益対象施設の整備延長		(m) ㉟ 605	
按分率		(%) ㉟ 30.6	(㉞/(㉞+㉟))
年間便益額		(千円/年) ㉟ 25,628	㉔×㉜

(2) 漁獲物付加価値化の効果

①屋根付き岸壁整備による漁獲物の品質保持

ホタテ、カキ等は野天での陸揚げ及び、屋根下での陸揚げ作業も規模が不足し、屋根下での作業が十分にできない状況にあり、直射日光によるホタテの活力低下や鳥糞による異物混入等の懸念がある。南ふ頭で養殖漁業に対応した屋根付き岸壁が整備されることにより、鳥糞や塵埃等の異物混入の防止や、直射日光・風雪雨の影響を受けずに鮮度を保持したまま市場へ出荷することが可能となる。これにより、魚価の低下を防ぐことが期待され、魚価下落防止効果を計上する。なお、各陸揚げの後、ソフト対策を含めて衛生管理の持続性を確保するための点検等を実施していく予定である。

区分			数量	備考	
対象漁業生産額	ホタテ	年間生産量 (t/年)	① 222.4	北海道水産現勢(H14～H28の平均値)	
		単価 (千円/t)	② 257.3		
		年間生産額 (千円/年)	③ 57,224		
カキ	カキ	年間生産量 (t/年)	④ 6.2	北海道水産現勢(H14～H28の平均値)	
		単価 (千円/t)	⑤ 497.9		
		年間生産額 (千円/年)	⑥ 3,087		
魚価安定化率 (%)			⑦ 10	直轄特定漁港漁場整備事業計画基礎資料作成その他業務報告書(H26北海道開発局)	
年間維持管理費 (千円/年)			⑧ 237	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
年間便益額	ホタテ	⑨	5,497	③×⑦-((⑧)×③)/((③+⑥))	
	カキ	⑩	297	⑥×⑦-((⑧)×⑥)/((③+⑥))	
年間便益額 (千円/年)			⑪ 5,794	⑩+⑪	

(3) 漁業就業者の労働環境改善効果

①南埠頭及び屋根付き岸壁整備による陸揚・荷捌作業環境の改善

現在、養殖漁業は作業スペース不足のため、それぞれの作業において十分な作業スペースを確保することができず、人とフォークリフトの交錯等のおそれがある。また、通常で強風地帯である当漁港で屋外での作業を強いられている。ホタテ養殖漁業岸壁の整備によって、陸揚・荷捌作業における就労環境の改善が図られる。

区分			数量	備考	
漁船隻数 冬期以外 (4ヶ月)	漁船隻数 ホタテ	3~5t船 (隻)	6	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
		5~10t船 (隻)	3		
	カキ	3~5t船 (隻)	2		
		5~10t船 (隻)	2		
	対象日数 ホタテ	浮力調整等 (日/年)	40		
		本分散 (日/年)	6		
		稚貝入替 (日/年)	10		
		出荷 (日/年)	40		
	カキ	浮力調整等 (日/年)	40		
		仮殖 (日/年)	2		
		出荷 (日/年)	34		
	整備前 作業時間 ホタテ	浮力調整等 (時間/日)	4.0		
		本分散 (時間/日)	6.0		
		稚貝入替 (時間/日)	6.0		
		出荷 (時間/日)	3.0		
	カキ	浮力調整等 (時間/日)	4.0		
		仮殖 (時間/日)	6.0		
		出荷 (時間/日)	3.0		
	整備後 作業時間 ホタテ	浮力調整等 (時間/日)	2.0		
		本分散 (時間/日)	4.0		
		稚貝入替 (時間/日)	4.0		
		出荷 (時間/日)	1.5		
	カキ	浮力調整等 (時間/日)	2.0		
		仮殖 (時間/日)	4.0		
		出荷 (時間/日)	1.5		
	作業人数 ホタテ	浮力調整等 (人/隻)	3		
		本分散 (人/隻)	9		
		稚貝入替 (人/隻)	9		
		出荷 (人/隻)	9		
	カキ	浮力調整等 (人/隻)	3		
		仮殖 (人/隻)	9		
		出荷 (人/隻)	9		
整備前作業環境ランク			B ランク	⑥ 1.154	
整備後作業環境ランク			C ランク	⑦ 1.000	
漁業労務者単価		3~5t船 (円/時間)	2,075	公共工事設計労務単価(R7)	
		5~10t船 (円/時間)	2,843	令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より	

区分				数量	備考		
冬期以外 (4~11月)	作業環境改善効果	ホタテ	浮力調整等	3~5t船 (千円/年)	460	①×②×(③-④)×⑤×(⑥-⑦)×⑧/1,000	
				5~10t船 (千円/年)	315		
			本分散	3~5t船 (千円/年)	207		
				5~10t船 (千円/年)	142		
			稚貝入替	3~5t船 (千円/年)	345		
		カキ		5~10t船 (千円/年)	236		
			出荷	3~5t船 (千円/年)	1,035		
				5~10t船 (千円/年)	709		
			浮力調整等	3~5t船 (千円/年)	153		
				5~10t船 (千円/年)	210		
冬期 (1~3月)	漁船隻数	ホタテ	仮殖	3~5t船 (千円/年)	23	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
				5~10t船 (千円/年)	32		
		カキ	出荷	3~5t船 (千円/年)	293		
				5~10t船 (千円/年)	402		
		年間便益額		(千円/年)	⑩	⑨の計	
		漁船隻数	ホタテ	3~5t船 (隻)	6		
				5~10t船 (隻)	3		
			カキ	3~5t船 (隻)	2		
				5~10t船 (隻)	2		
	対象日数	ホタテ	浮力調整等	(日/年)	15	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
			出荷	(日/年)	18		
		カキ	浮力調整等	(日/年)	15		
	整備前作業時間	ホタテ	浮力調整等	(日/年)	4.0	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
			出荷	(日/年)	3.0		
		カキ	浮力調整等	(日/年)	4.0		
	整備後作業時間	ホタテ	浮力調整等	(日/年)	2.0	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
			出荷	(日/年)	1.5		
		カキ	浮力調整等	(日/年)	2.0		
	作業人数	ホタテ	浮力調整等	(人/隻)	3	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
			出荷	(人/隻)	9		
		カキ	浮力調整等	(人/隻)	3		
整備前作業環境ランク				Aランク	⑯	1,486	
整備後作業環境ランク				Cランク	⑰	1,000	
漁業労務者単価		3~5t船	(円/時間)	⑯	2,075	令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より	
		5~10t船	(円/時間)	⑰	2,843		
作業環境改善効果	ホタテ	浮力調整等	3~5t船 (千円/年)	⑯	545	⑪×⑫×(⑬-⑭)×⑮×(⑯-⑰)×⑯/1,000	
			5~10t船 (千円/年)	⑯	373		
		出荷	3~5t船 (千円/年)	⑯	1,470		
			5~10t船 (千円/年)	⑯	1,007		
	カキ	浮力調整等	3~5t船 (千円/年)	⑯	182		
年間便益額				(千円/年)	⑲	3,826	
年間便益額				(千円/年)		8,388	
					⑲+⑲		

②物揚場の改良整備による労働環境の改善

-2.5m物揚場は急勾配でさらに老朽化が進んでいるため、転倒等のおそれがある。車止めもないため、特に冬季は凍結により転倒、転倒のおそれもあり危険である。エプロン勾配改良により準備作業（漁労準備、給油）の労働環境の改善が図られる。

区分			数量	備考
漁船隻数	タコ漁業	(隻/回)	16	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(隻/回)	1	
	イカナゴ漁業	(隻/回)	20	
	定置網・底建網漁業	(隻/回)	4	
	刺網漁業	(隻/回)	10	
	ナマコ漁業	(隻/回)	23	
出漁日数	タコ漁業	(日/年)	42	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(日/年)	25	
	イカナゴ漁業	(日/年)	24	
	定置網・底建網漁業	(日/年)	50	
	刺網漁業	(日/年)	22	
	ナマコ漁業	(日/年)	44	
冬期以外(4ヶ月)	タコ漁業	(人/隻)	2	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(人/隻)	1	
	イカナゴ漁業	(人/隻)	2	
	定置網・底建網漁業	(人/隻)	3	
	刺網漁業	(人/隻)	3	
	ナマコ漁業	(人/隻)	2	
整備前作業状況ランク	Bランク	④	1,154	公共工事設計労務単価(R7)
整備後作業状況ランク	Cランク	⑤	1,000	
作業時間	タコ漁業	(時間/日)	1.1	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(時間/日)	0.9	
	イカナゴ漁業	(時間/日)	0.9	
	定置網・底建網漁業	(時間/日)	1.0	
	刺網漁業	(時間/日)	1.3	
	ナマコ漁業	(時間/日)	0.9	
漁業者労務単価	3～5t船	(円/時間)	⑦	2,075
労働環境改善効果	タコ漁業	(千円/年)	472	①×②×③×(④-⑤)×⑥×⑦/1000
	イカ釣り漁業	(千円/年)	7	
	イカナゴ漁業	(千円/年)	276	
	定置網・底建網漁業	(千円/年)	192	
	刺網漁業	(千円/年)	274	
	ナマコ漁業	(千円/年)	582	
年間便益額		(千円/年)	⑨	1,803
				⑧の計

区分			数量	備考
漁船隻数	タコ漁業	(隻/回)	16	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(隻/回)	1	
	イカナゴ敷網	(隻/回)	20	
	定置網・底建網漁業	(隻/回)	4	
	刺網漁業	(隻/回)	10	
	ナマコ漁業	(隻/回)	23	
出漁日数	タコ漁業	(日/年)	30	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(日/年)	15	
	イカナゴ敷網	(日/年)	10	
	定置網・底建網漁業	(日/年)	40	
	刺網漁業	(日/年)	42	
	ナマコ漁業	(日/年)	10	
冬期作業員数	タコ漁業	(人/隻)	2	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(人/隻)	1	
	イカナゴ敷網	(人/隻)	2	
	定置網・底建網漁業	(人/隻)	3	
	刺網漁業	(人/隻)	3	
	ナマコ漁業	(人/隻)	2	
翌3月	整備前作業状況ランク	Aランク	13	1,486
	整備後作業状況ランク	Cランク	14	1,000
作業時間	タコ漁業	(時間/日)	1.1	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカ釣り漁業	(時間/日)	0.9	
	イカナゴ敷網	(時間/日)	0.9	
	定置網・底建網漁業	(時間/日)	1.0	
	刺網漁業	(時間/日)	1.3	
	ナマコ漁業	(時間/日)	0.9	
漁業者 労務単価		3～5t船 (円/時間)	16	2,075 令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より
労働環境改善効果	タコ漁業	(千円/年)	1,065	$\text{⑩} \times \text{⑪} \times \text{⑫} \times (\text{⑬} - \text{⑭}) \times \text{⑮} \times \text{⑯}$
	イカ釣り漁業	(千円/年)	14	
	イカナゴ敷網	(千円/年)	363	
	定置網・底建網漁業	(千円/年)	484	
	刺網漁業	(千円/年)	1,652	
	ナマコ漁業	(千円/年)	417	
年間便益額			18	3,995 ⑯の計
年間便益額			19	5,798 ⑨ + ⑯
本特定計画における便益対象施設の整備延長			20	109 全体整備延長573m
前特定計画における便益対象施設の整備延長			21	464
按分率			22	19.0 (⑯ / (⑯ + ⑯))
年間便益額			1,102	⑨ × ⑯

(4) 生命・財産保全・防御効果

①耐震性能を強化した岸壁整備による漁業活動休止被害の回避及び施設復旧費用の削減

大規模地震により、寿都漁港が壊滅的な被害を受けた場合、復旧に要する期間は、耐震性能を備えた岸壁を有する漁港のうち寿都漁港に最も近接する古平漁港を代替港として陸揚げ作業を余儀なくされる。耐震性能を強化した岸壁の整備により、地震による被災後にも当漁港で陸揚げが可能となり、漁業休業損失額を低減することが出来るとともに、古平漁港までの海上移動コストが削減される。なお、3t未満漁船は岸壁でなくとも斜路、前浜等でも陸揚げ可能であり、当漁港の主要漁業であるホッケ底建網、サケ定置、イカナゴ敷網、刺網、イカ釣り（地元船）、ホタテ、カキ養殖漁業を対象とする（イカ釣り外来船は他漁港の利用を想定）。

区分			数量	備考
震災時操業漁船隻数	定置網・底建網	3~5t船 (隻)	4	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		5~10t船 (隻)	3	
		10~20t船 (隻)	2	
		イカナゴ敷網 3~5t船 (隻)	20	
		5~10t船 (隻)	1	
	刺網	3~5t船 (隻)	10	
		イカ釣（地元） 3~5t船 (隻)	1	
	1隻あたりの平均トン数	3~5t船 (トン/隻)	4.50	
		5~10t船 (トン/隻)	7.80	
		10~20t船 (トン/隻)	16.70	
休業損失の回避（沿岸漁業）	階層別総トン数	3~5t船 (トン)	18.00	①×②
		5~10t船 (トン)	23.40	
		10~20t船 (トン)	33.40	
		イカナゴ敷網 3~5t船 (トン)	90.00	
		5~10t船 (トン)	7.80	
	刺網	3~5t船 (トン)	45.00	
		イカ釣（地元） 3~5t船 (トン)	4.50	
	対象漁業種の年間属地陸揚金額	定置網・底建網 (千円/年)	67,318	
		イカナゴ敷網 (千円/年)	76,473	
		刺網 (千円/年)	48,409	
		イカ釣（地元船） (千円/年)	601	
バース長	1隻あたりの年間生産額	3~5t船 (千円/年)	4,050	年間陸揚金額（R1～R5港勢調査より）、操業隻数、階層別総トン数から算出
		底建網・定置網 5~10t船 (千円/年)	7,020	
		10~20t船 (千円/年)	15,030	
		イカナゴ敷網 3~5t船 (千円/年)	3,519	
		5~10t船 (千円/年)	6,099	
		刺網 3~5t船 (千円/年)	4,841	
	3~5t (イカナゴ敷網・刺網・イカ釣（地元）) (m/隻)	イカ釣（地元） 3~5t船 (千円/年)	601	
		3~5t (底建・定置網) (m/隻)	18.5	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		5~10t (イカナゴ敷網) (m/隻)	18.6	
		5~10t (底建・定置網) (m/隻)	22.4	
		10~20t (底建・定置網) (m/隻)	20.4	
			29.1	

区分				数量	備考	
陸揚時間	定置網・底建網 イカナゴ敷網 刺網 イカ釣	定置網・底建網 (時間/隻)	(時間/隻)	2 1 2 1	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
		イカナゴ敷網 (時間/隻)	(時間/隻)			
		刺網 (時間/隻)	(時間/隻)			
		イカ釣 (時間/隻)	(時間/隻)			
陸揚所要延長	定置網・底建網 イカナゴ敷網 刺網	3~5t船 (m・h/日)	(m・h/日)	148.8 122.4 116.4	①×⑥×⑦	
		5~10t船 (m・h/日)	(m・h/日)			
		10~20t船 (m・h/日)	(m・h/日)			
	イカナゴ敷網 刺網 イカ釣(地元)	3~5t船 (m・h/日)	(m・h/日)	370.0 22.4 370.0		
		5~10t船 (m・h/日)	(m・h/日)			
		3~5t船 (m・h/日)	(m・h/日)			
休業損失の回避(沿岸漁業)	陸揚可能延長	整備前	バース長 (m)	211	古平漁港：第2港区-3.5m岸壁 211m	
		可能時間 (h/日)	(h/日)	4	古平漁港：市場開設時間(8:00~12:00)より、4時間	
		可能延長 (m・h/日)	(m・h/日)	844	⑨×⑩	
	整備後	バース長 (m)	(m)	112	寿都漁港：-3.5m岸壁の延長分	
		可能時間 (h/日)	(h/日)	10	寿都漁港：被災後の市場開設時間(6~16時)より、10時間	
		可能延長 (m・h/日)	(m・h/日)	1,120	⑫×⑬	
	陸揚利用延長	整備前	定置網・底建網 10~20t船 イカナゴ敷網 刺網 イカ釣(地元)	148.8 122.4 116.4 370.0 22.4 64.0 0.0	陸揚げ利用延長は、陸揚げ可能延長を上限として、漁船階層・漁業種別で設定した優先順位を基に、陸揚げ所要延長の合計値により算定した。 ※陸揚げ優先順位は、年間生産額が高い漁業の順に設定した。	
			5~10t船 (m・h/日)	148.8		
			10~20t船 (m・h/日)	122.4		
			イカナゴ敷網 5~10t船 (m・h/日)	116.4		
			刺網 3~5t船 (m・h/日)	370.0		
			イカ釣(地元) 3~5t船 (m・h/日)	22.4 0.0		
		整備後	定置網・底建網 10~20t船 イカナゴ敷網 刺網 イカ釣(地元)	148.8 122.4 116.4 370.0 340.0 0.0		
			5~10t船 (m・h/日)	148.8		
			10~20t船 (m・h/日)	122.4		
			イカナゴ敷網 5~10t船 (m・h/日)	116.4		
			刺網 3~5t船 (m・h/日)	370.0 22.4 340.0 0.0		

区分			数量	備考	
休業損失の回避 (沿岸漁業)	整備前 陸揚可能漁船隻数	定置網・底建網 3~5t船	(隻)	4	⑯/⑯/⑯
		5~10t船	(隻)	3	
		10~20t船	(隻)	2	
		イカナゴ 敷網 3~5t船	(隻)	20	
		5~10t船	(隻)	1	
		刺網 3~5t船	(隻)	1	
	整備後 陸揚可能漁船隻数	イカ釣 (地元) 3~5t船	(隻)	0	
		定置網・底建網 3~5t船	(隻)	4	
		5~10t船	(隻)	3	
		10~20t船	(隻)	2	
休業損失額	漁業所得率	イカナゴ 敷網 3~5t船	(隻)	20	⑯/⑯/⑯
		5~10t船	(隻)	1	
		刺網 3~5t船	(隻)	9	
		イカ釣 (地元) 3~5t船	(隻)	0	
		漁業所得率 (%)		56.5	
		定置網・底建網 3~5t船	(千円/年)	0	
	休業損失額	5~10t船	(千円/年)	0	
		10~20t船	(千円/年)	0	
		イカナゴ 敷網 3~5t船	(千円/年)	0	
		5~10t船	(千円/年)	0	
休業損失の回避 (養殖漁業)	刺網	3~5t船	(千円/年)	21,881	⑯×(⑯-⑯)×⑯ ※漁業種別・漁船階層別に算出
	イカ釣 (地元)	3~5t船	(千円/年)	0	
	休業損失回避額	(千円/年)		21,881	
	震災1回当りの便益額	(千円/震災1回)		20,554	
	対象漁業種の 年間属地陸揚金額	ホタテ養殖 (千円/年)		57,224	
		カキ養殖 (千円/年)		3,087	
休業損失額	漁業所得率 (%)			56.5	令和5年漁業経営調査報告書(令和7年3月農林水産省)
	休業 損失額	ホタテ養殖 (千円/年)		32,332	⑯×⑯
		カキ養殖 (千円/年)		1,744	
	休業損失回避額	(千円/年)		34,076	⑯の計
	震災1回当りの便益額	(千円/震災1回)		32,009	(⑯×11/12+⑯×12/12×0.962(社会的割引率4%))/2

区分				数量	備考		
海上移動に係る時間・経費の削減効果	整備前 陸揚可能漁船隻数	定置網・底建網	3~5t船 (隻)	4	⑯より		
			5~10t船 (隻)	3			
			10~20t船 (隻)	2			
		イカナゴ敷網	3~5t船 (隻)	20			
			5~10t船 (隻)	1			
			刺網 3~5t船 (隻)	1			
	整備後 陸揚可能漁船隻数	定置網・底建網	3~5t船 (隻)	4	⑰より		
			5~10t船 (隻)	3			
			10~20t船 (隻)	2			
		イカナゴ敷網	3~5t船 (隻)	20			
			5~10t船 (隻)	1			
			刺網 3~5t船 (隻)	9			
	年間出漁日数	定置網・底建網 (日/年)		90	調査日：令和7年6月4日		
		イカナゴ敷網 (日/年)		34	調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員		
		刺網 (日/年)		64	調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査		
	整備前移動距離 (km)			⑪	図上計測(往復距離) 漁場～古平漁港		
	整備後移動距離 (km)			⑫	図上計測(往復距離) 漁場～寿都漁港		
	航行速度 (km/時間)			⑬	27.78 15ノット(1海里=1.852kmで換算)		
	整備前移動時間 (時間/回)			⑭	7.2 ⑪/⑬		
	整備後移動時間 (時間/回)			⑮	0.4 ⑫/⑬		
	漁業者労務単価	3~5t船 (円/時間)	2,075	令和5年漁業経営調査報告書(農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月)より			
		5~10t船 (円/時間)	2,843				
		10~20t船 (円/時間)	2,508				
	移動労務費削減額	定置網・底建網	3~5t船 (千円/年)	5,109	(⑯×⑪/⑬-⑰×⑫/⑬)×⑩×⑯ ※漁業種別・漁船階層別に算出		
			5~10t船 (千円/年)	5,250			
			10~20t船 (千円/年)	3,088			
		イカナゴ敷網	3~5t船 (千円/年)	9,650			
			5~10t船 (千円/年)	661			
			刺網 3~5t船 (千円/年)	526			
	労務費削減額 (千円/年)			⑯	⑯の計		
	震災1回当たりの労務費削減額 (千円/震災1回)			⑰	(⑯×11/12+⑯×12/12×0.962(社会的割引率4%))/2		
	漁船馬力	3~10t (PS)	215	定格出力北海道漁船統計表(令和5年)による算定値×0.8(航行中出力)			
		10t以上 (PS)	391				
	漁船燃費率 (L/ps・hr)			⑪	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドラインー参考資料ー(令和7年6月、水産庁)		
	燃料単価(軽油) (円/L)			⑫	石油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部)		
	燃料重量(軽油) (kg/m ³)			⑬	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドラインー参考資料ー(令和7年6月、水産庁)		
	移動経費削減額	定置網・底建網	3~5t船 (千円/年)	10,503	(⑯×⑪/⑬-⑰×⑫/⑬)×⑩×⑯×⑪/⑫×⑬ ※漁業種別・漁船階層別に算出		
			5~10t船 (千円/年)	7,877			
			10~20t船 (千円/年)	9,550			
		イカナゴ敷網	3~5t船 (千円/年)	19,839			
			5~10t船 (千円/年)	992			
			刺網 3~5t船 (千円/年)	1,081			
	移動経費削減額 (千円/年)			⑮	⑯の計		
	震災1回当たりの移動経費削減額 (千円/震災1回)			⑯	(⑯×11/12+⑯×12/12×0.962(社会的割引率4%))/2		
	海上移動に要するコスト削減額 (千円/震災1回)			⑰	⑯+⑯		

区分			数量	備考
整備前対象台数	定置網・底建網	(台)	1	調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	イカナゴ敷網	(台)	1	
	刺網	(台)	1	
	定置網・底建網	(台)	1	
	イカナゴ敷網	(台)	1	
	刺網	(台)	1	
	定置網・底建網	(日/年)	90	
	イカナゴ敷網	(日/年)	34	
	刺網	(日/年)	64	
	対象人数	(人/台)	[51]	2
整備前移動距離			[52]	200
整備後移動距離			[53]	1
陸上移動に係る時間・経費の削減効果	走行速度	(km/hr)	[54]	40.00 調査日：令和7年6月4日 調査対象者：寿都町漁業協同組合職員、寿都町職員 調査実施者：小樽港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	整備前移動時間	(時間/回)	[55]	5.00 [52]/[54]
	整備後移動時間	(時間/回)	[56]	0.03 [53]/[54]
	労務単価	(円/時間)	[57]	2,210 令和5年漁業経営調査報告書（農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月）より
	労務費削減額	定置網・底建網 イカナゴ敷網 刺網	[58]	1,984 750 1,411 ([58] × [55] - [49] × [56]) × [50] × [51] × [57]
	震災1回当たりの移動人件費削減額	定置網・底建網 イカナゴ敷網 刺網	[59]	1,864 705 1,325 ([58] × 11/12 + [58] × 12/12 × 0.962(社会的割引率4%))/2
	労務費削減額		[60]	3,894 [59]の計
	走行経費	(km/h)	[61]	46.21 費用便益分析マニュアル（国土交通省道路局都市局、令和7年8月）
	GDPデフレータ (R7)		[62]	110.2
	GDPデフレータ (R6)		[63]	110.2 内閣府経済社会総合研究所
施設復旧額旧費用削減額	移動経費削減額	定置網・底建網 イカナゴ敷網 刺網	[64]	828 313 589 ([48] × [52] - [49] × [53]) × [50] × [61] × [62] / [63]
	震災1回当たりの移動経費削減額	定置網・底建網 イカナゴ敷網 刺網	[65]	778 294 553 ([64] × 11/12 + [64] × 12/12 × 0.962(社会的割引率4%))/2
	移動経費削減額	(千円/震災1回)	[66]	1,625 [65]の計
	陸上移動に要するコスト削減額	(千円/震災1回)	[67]	5,519 [60] + [66]
	-3.5m岸壁復旧費の削減額	(千円/震災1回)	[68]	1,752,536 -3.5m岸壁新設費用（撤去費用込）
	-3.0m岸壁復旧費の削減額	(千円/震災1回)	[69]	1,920,866 -3.0m岸壁新設費用（撤去費用込）
	道路復旧費の削減額	(千円/震災1回)	[70]	150,660 道路新設費用（撤去費用込）
	用地復旧費の削減額	(千円/震災1回)	[71]	202,860 用地新設費用
	施設復旧費の削減額	(千円/震災1回)	[72]	4,026,922 [68] + [69] + [70] + [71]
	震災1回当たりの便益額	(千円/震災1回)	[73]	4,154,634 [22] + [23] + [40] + [67] + [72]
年間便益額				[73] × (1/75-1/500) × (74/75) ^{t-1} × (74/75) ^{t-1} (t:施設供用後の経過年数)

(5) 避難・救助・災害対策

①漁港整備による海難損失の回避

当漁港は、寿都島牧圏域における流通拠点漁港としての役割を担っている。寿都漁港の周辺海域で操業している漁船の一部は、港内の避難船収容数には限りがあるため、荒天時に避難が出来ず危険を冒して自港に帰港しなければならない状況となっている。南港区の整備及び北防波堤の改良により港内の静穏が改善されることで、寿都漁港で避難係留を行うことが可能となり、海難による損失を未然に回避することが可能となる。

区分			数量	備考
漁船損傷に伴う損失	漁船規格	定置網 (トソ/隻)	14.0	R1～R5港勢調査 利用実績より 造船造機統計調査（国土交通省）より 港湾投資の評価に関する解説書2011 ※漁業種別・海難損傷別に算出
		イカ釣り（外来） (トソ/隻)	18.8	
		底建て網等 (トソ/隻)	4.1	
	漁船建造費	(千円/トソ)	5,009	
	海難損傷別船体損傷率	(全損/全損)	1.0	
		(重損傷/全損)	0.7	
		(軽損傷/全損)	0.2	
	漁船損傷に伴う損失額	(全損) (千円/隻)	70,126	
		定置網 (重損傷) (千円/隻)	49,088	
		(軽損傷) (千円/隻)	14,025	
		イカ釣り（外来） (全損) (千円/隻)	94,169	
		(重損傷) (千円/隻)	65,918	
		(軽損傷) (千円/隻)	18,834	
		底建て網等 (全損) (千円/隻)	20,537	
		(重損傷) (千円/隻)	14,376	
		(軽損傷) (千円/隻)	4,107	
		(全損) (日/隻)	180	
漁業休業損失	損傷修繕期間	(重損傷) (日/隻)	30	港湾投資の評価に関する解説書2011 ※海難損傷別に算出
		(軽損傷) (日/隻)	14	
		漁船損傷による漁業休業損失額 (円/日)	35,998	
	漁船損傷による漁業休業損失額	(全損) (千円/隻)	6,480	
		(重損傷) (千円/隻)	1,080	
		(軽損傷) (千円/隻)	504	
人的被害損失額	(全損) (千円/隻)	200	港湾投資の評価に関する解説書2011	
	(重損傷) (千円/隻)	200		
	(軽損傷) (千円/隻)	0		
避難船年間受入隻数	定置網 (隻/年)	1	静穏水域増による入港可能隻数	
	イカ釣り（外来） (隻/年)	1		
	底建て網等 (隻/年)	2		
避難機会	定置網 (回/年)	13.2	瀬棚港沖波高計観測データによる荒天日数H25～R4の10カ年平均（出典）全国港湾海洋波浪観測年報	
	イカ釣り（外来） (回/年)	6.5		
	底建て網等 (回/年)	13.2		
損失区分別 損失額原単位	定置網	(全損) (千円/隻)	76,806	④+⑦+⑧ ※漁業種別・海難損傷別に算出
		(重損傷) (千円/隻)	50,368	
		(軽損傷) (千円/隻)	14,529	
		イカ釣り（外来） (全損) (千円/隻)	100,849	
		(重損傷) (千円/隻)	67,198	
		(軽損傷) (千円/隻)	19,338	
	底建て網等	(全損) (千円/隻)	27,217	
		(重損傷) (千円/隻)	15,656	
		(軽損傷) (千円/隻)	4,611	
損失項目別 発生比率	(全損) (%)	0.078	港湾投資の評価に関する解説書2011	
	(重損傷) (%)	0.158		
	(軽損傷) (%)	0.218		
損失区分別 年間便益額	定置網	(全損) (千円/年)	79,079	⑨×⑩×⑪×⑫ ※漁業種別・海難損傷別に算出
		(重損傷) (千円/年)	105,048	
		(軽損傷) (千円/年)	41,809	
	イカ釣り（外来）	(全損) (千円/年)	51,130	
		(重損傷) (千円/年)	69,012	
		(軽損傷) (千円/年)	27,402	
	底建て網等	(全損) (千円/年)	56,045	
		(重損傷) (千円/年)	65,304	
		(軽損傷) (千円/年)	26,537	
便益案分率	定置網 (%)	0.53		
	イカ釣り（外来） (%)	0.53		
	底建て網等 (%)	0.87		
年間便益額 (千円/年)			324,738	⑬の計

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

作業環境ランク表 (5) ①南埠頭及び屋根付き岸壁整備による陸揚・荷捌作業環境の改善 冬期以外(4~11月)

評価指標		ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)	
危険性	事故等の発生頻度	a.作業中の事故や病気等が頻発している	3			ほぼ毎年のように事故や病気が発生	
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある	
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○	狭隘な作業用地でフォークリフトとの交差等の恐れがある。		
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○			
	事故等の内容	a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			海中への転落、漁港施設内での交通事故等	
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	狭隘な作業スペースでフォークリフトとの交差等の恐れがある。	軽い打撲等	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○			
危険性小計		0~6	2	0			
作業環境		a.極めて過酷な作業環境である	5			極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
		b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○	強風地帯のため通年で強風(平均風速6m以上)の影響を受けている。	風雨、波浪の飛沫等	
		c.風雨等の影響を受ける場合がある	1				
		d.当該地域における標準的な作業環境である	0	○			
重労働性		a.肉体的負担が極めて大きい作業	5			人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等	
		b.肉体的負担が比較的大きい作業	3	○	直射日光や通年で強風の影響により厳しい環境下での作業である	長時間の同じ姿勢での作業等	
		c.肉体的負担がある作業	1	○			
		d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0				
評価ポイント 計			8	1			
作業ランク			B	C			

Aランクの条件:評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5~0ポイント

作業環境ランク表

(5) ①南埠頭及び屋根付き岸壁整備による陸揚・荷捌作業環境の改善 冬期外(12~翌年3月)

評価指標		ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)	
危険性	事故等の発生頻度	a.作業中の事故や病気等が頻発している	3			ほぼ毎年のように事故や病気が発生	
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある	
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○	冬期の岸壁凍結により、危険な作業状況である		
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○			
	事故等の内容	a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			海中への転落、漁港施設内での交通事故等	
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2	○	冬期の岸壁凍結に加え狭隘な作業スペースでのフォークリフトの交錯等により、危険な作業状況である	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1			軽い打撲等	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○			
危険性小計		0~6	3	0			
作業環境		a.極めて過酷な作業環境である	5	○	日本有数の強風地帯であることに加え、雪、低気温の影響により非常に厳しい環境下での作業である	極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
		b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3			風雨、波浪の飛沫等	
		c.風雨等の影響を受ける場合がある	1				
		d.当該地域における標準的な作業環境である	0	○			
重労働性		a.肉体的負担が極めて大きい作業	5	○	強風に加え、雪、低気温の環境下での屋外作業のため影響により厳しい環境下での作業である	人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等	
		b.肉体的負担が比較的大きい作業	3			長時間の同じ姿勢での作業等	
		c.肉体的負担がある作業	1	○			
		d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0				
評価ポイント 計				13	1		
作業ランク				A	C		

Aランクの条件:評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5~0ポイント

作業環境ランク表

(5) ②物揚場の改良整備による労働環境の改善

冬期以外(4~10月)

評価指標		ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)	
危険性	事故等の発生頻度	a.作業中の事故や病気等が頻発している	3			ほぼ毎年のように事故や病気が発生	
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある	
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○	エプロンが急勾配であることに加え、老朽化で不陸となっており躓き、転倒が生じる危険な作業状況である		
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○			
	事故等の内容	a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			海中への転落、漁港施設内での交通事故等	
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2			転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	エプロンが急勾配であることに加え、老朽化で不陸となっており躓き、転倒が生じる危険な作業状況である	軽い打撲等	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○			
危険性小計		0~6	2	0			
作業環境		a.極めて過酷な作業環境である	5			極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
		b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○	強風地帯のため通年で強風(平均風速6m以上)の影響を受けている。	風雨、波浪の飛沫等	
		c.風雨等の影響を受ける場合がある	1				
		d.当該地域における標準的な作業環境である	0	○			
重労働性		a.肉体的負担が極めて大きい作業	5			人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等	
		b.肉体的負担が比較的大きい作業	3	○	直射日光や通年で強風の影響により厳しい環境下での作業である	長時間の同じ姿勢での作業等	
		c.肉体的負担がある作業	1	○			
		d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0				
評価ポイント 計				8	1		
作業ランク				B	C		

Aランクの条件:評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5~0ポイント

作業環境ランク表

(5) ②物揚場の改良整備による労働環境の改善

冬期(11~翌3月)

評価指標		ポイント	整備前	整備後	評価の根拠(整備前)	根拠(評価の目安)
危険性		a.作業中の事故や病気等が頻発している	3			ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b.過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2			直近5年程度での発生がある
		c.過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○	エプロンが急勾配であることに加え、老朽化で不陸となっており、特に冬期は凍結により躓き、転倒が生じる危険な作業状況である	
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○		
事故等の内容		a.生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3			海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b.一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2	○	エプロンが急勾配であることに加え、老朽化で不陸となっており躓き、特に冬期が凍結により転倒が生じる危険な作業状況である	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等
		c.通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1			軽い打撲等
		d.事故等が発生する危険性は低い	0	○		
危険性小計		0~6	3	0		
作業環境		a.極めて過酷な作業環境である	5	○	日本有数の強風地帯であることに加え、雪、低気温の影響があり、車止めの設置がない急なエプロン勾配での作業のため、非常に厳しい環境下である	極寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
		b.風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3			風雨、波浪の飛沫等
		c.風雨等の影響を受ける場合がある	1			
		d.当該地域における標準的な作業環境である	0	○		
重労働性		a.肉体的負担が極めて大きい作業	5	○	強風に加え、雪、低気温の環境下での屋外作業のため影響により厳しい環境下での作業で	人力での漁船上下架作業、潮位差の大きい陸揚げ等
		b.肉体的負担が比較的大きい作業	3			長時間の同じ姿勢での作業等
		c.肉体的負担がある作業	1	○		
		d.通常の作業と同等程度の肉体的負担	0			
評価ポイント 計			13	1		
作業ランク			A	C		

Aランクの条件:評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること

Bランクの条件:評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件:評価ポイント計5~0ポイント